公益財団法人
ニッポンハム
食の未来財団

2023年度

研究助成

助成対象期間
2023年4月1日 ― 2024年3月31日

食物アレルギーに関連する問題解決を目指す研究者及び研究グループに対する助成事業です。

対象研究領域

1. 食物アレルギー対応食品に関する研究
2. 食物アレルギーの予防に関する研究
3. 食物アレルギーの診断・治療に関する研究
4. 食物アレルギーに関する工場内等での衛生管理に関する研究
5. 食物アレルギーに関するその他研究（社会科学的な研究を含む）

募集期間
2022年
7月15日(金)から
9月30日(金)
消印有効

上記領域はすべて重要ですが、
特に「①食物アレルギー対応食品に関する研究」や
「②食物アレルギーの予防に関する研究」の応募を歓迎いたします。

助成区分及び助成件数等

共同研究
上限600万円×5件（予定）
●専門領域を異にする複数の研究者（※）が、同一テーマに関し、広範に共同研究する場合を対象にします。
※異分野、他機関との積極的な交流を期待しています。研究体制に食品科学の研究者が入り、医学、薬学、保健、栄養等、異分野かつ他機関が参加していることを歓迎いたします。

個人研究
上限200万円×15件（予定）
●若手研究者（2023年4月1日時点で45歳以下）による単独研究を対象とします。

※両区分とも、提案が適切であれば、新たに食物アレルギーに取り組む方も積極的に支援したいと考えています。
※2022年度実績：採択件数（共同研究：6件（採択率35%）、個人研究：15件（採択率65%））助成金総額約6,138万円
※両区分とも、提案が適切であれば、新たに食物アレルギーに取り組む方も積極的に支援したいと考えています。
※その他にも応募条件等があります。詳細は必ず募集要項をご確認ください。

ニッポンハム食の未来財団
Nipponham Foundation
https://www.miraizaidan.or.jp
電話：029-893-4466　E-mail:info@miraizaidan.or.jp

2022年度　研究助成採択課題（助成対象期間：2022年4月1日から2023年3月31日）

共同研究助成：応募17件→採択6件（採択率35%）

敬称略

	研究課題名	所属機関・氏名	共同研究者所属機関・氏名
1	唾液の次世代プロテオーム解析による、非侵襲的な食物蛋白誘発胃腸炎の診断・症状誘発予測マーカーの開発	千葉大学大学院医学研究院 総合医科学 特任講師　井上 祐三朗	かずさ DNA 研究所　ゲノム事業推進部 ユニットリーダー　川島 祐介 東海大学医学部総合診療学系小児科学　教授　山田 佳之
2	食物アレルギー児におけるレジリエンス尺度の開発	昭和大学医学部小児科学講座 教授　今井 孝成	岐阜協立大学看護学部　准教授　清水 美恵 聖徳大学教育学部児童学科　教授　相良 順子
3	食品の味覚成分を利用した食物アレルギー制御法	広島大学原爆放射線医科学研究所 疾患モデル解析研究分野 教授　神沼 修	日本医科大学耳鼻咽喉科　准教授　後藤 穣
4	アレルゲンコンポーネントを活用した乳児期の食物アレルゲン感作に関する研究	国立病院機構相模原病院 臨床研究センター 食物アレルギー研究室長 佐藤 さくら	国立研究開発法人理化学研究所　主任研究員　伊藤 嘉浩 国立病院機構相模原病院　小児科　医師　高橋 亨平 国立病院機構熊本医療センター　小児科　副部長　緒方 美佳 長野県立こども病院　アレルギー科　部長　小池 由美 甲南医療センター 小児科　医長　谷口 裕章 愛和病院　小児科　副院長　藤田 英寿
5	新規アレルギー抑制分子 Ly6G によるマスト細胞の機能制御と創薬への応用	金沢大学　医薬保健研究域　薬学系　教授　鈴木 亮	名古屋市立大学医薬学総合研究院（薬学）　教授　平嶋 尚英 国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部　第3室長　中村 亮介
6	モデルマウスを用いた花粉－食物アレルギー症候群における経口免疫治療の確立と機序解明	福井大学学術研究院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授　藤枝 重治	筑波大学生命環境系　生物科学専攻　分子細胞生物学分野 植物分子生物細胞学研究室　教授　三浦 謙治 筑波大学医療医学系遺伝医学　助教　宮寺 浩子

個人研究助成：応募23件→採択15件（採択率65%）

敬称略

	研究課題名	所属機関・氏名
1	機能性大麦を用いた腸内細菌叢を標的とする新たな食物アレルギー治療法の開発	関西医科大学医学部小児科学講座 講師　赤川 翔平
2	経皮感作による食物アレルギー発症の新規病態機序の解明	順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センター 助教　安藤 智暁
3	食物アレルギーのアウトグローにおける抗原特異的 IgD の役割	福井大学医学部付属病院 総合周産期母子総合医療センター　特命助教　伊藤 尚弘
4	経口免疫寛容を強力に誘導する新規 Treg 標的バイオロジクスの創製	神戸学院大学　薬学部 助教　井上 雅己
5	食物アレルギー予防・治療を目指した核内受容体リガンドによる制御性 T 細胞分化制御解析	島根大学医学部医学科　免疫学講座 講師　小谷 仁司
6	D-アミノ酸含有ビオチニル化ペプチドによる持続的な抗アナフィラキシー効果の検証	医療創生大学薬学部　衛生薬学部門 准教授　佐藤 陽
7	発酵を利用した低アレルゲン化エビ調味料開発の試み	北海道大学　大学院水産科学研究院 技術専門職員　清水 裕
8	母乳中 micro RNA が食物アレルギー発症に及ぼす影響	千葉大学医学部附属病院小児科 助教　中野 泰至
9	加工食品の輸出拡大を目指したコーデックス指定アレルゲンならびにアレルゲン様化学物質の網羅的検出法の基盤的検討	国立医薬品食品衛生研究所　食品部第五室 室長　中村 公亮
10	胃食道逆流に注目した牛乳アレルギーモデルマウスの免疫機序の解明	名古屋市立大学大学院医学研究科　新生児・小児医学 助教　野村 孝泰
11	鶏卵アレルギー小児の長期的観察による食物アレルギー寛容誘導機序の解明	京都大学大学院医学研究科 客員研究員　田中 孝之
12	経口免疫寛容における粘膜組織樹状細胞と腸内細菌叢との相互作用の役割の解明	宮崎大学医学部医学科感染症学講座免疫学分野 助教　深谷 知宏
13	固形食物による消化管アレルギーの予後予測因子についての研究	自治医科大学附属さいたま医療センター小児科 講師　牧田 英士
14	LGG 乳酸菌を併用して行う経口免疫療法の有効性を検証する研究	独立行政法人　国立病院機構　相模原病院　小児科 レジデント　三浦 陽子
15	低アレルゲン化小麦の交差反応を利用した安全性の高い小麦アレルギーの予防法と治療法の開発	広島大学大学院　医系科学研究科（薬） 准教授　横大路 智治

ニッポンハム食の未来財団
Nipponham Foundation

当財団のWebサイトから研究課題概要をご覧いただくことができます。
https://www.miraizaidan.or.jp/specialist/grants/2021/02_result.html